

30総行革行第605号

平成31年3月29日

関係局（本部）長、中央卸売市場長、
各地方公営企業管理者、教育長、
消防総監 } 殿

総務局長

（公印省略）

政策評価の試行実施について（依頼）

標記の件について、別添1の方針に基づき政策評価を試行実施する。

については、別添2に従い、評価書を作成し、期日までに提出していただくようお願いする。

政策評価の試行実施方針

1 政策評価の目的

見える化改革の事業ユニットにおける各施策について、成果目標に対する必要性、有効性、効率性等の観点から自己評価し、今後の企画立案に反映させることにより、成果を重視した効果的・効率的な都政運営に資するとともに、評価に関する情報を公表することにより、都政に関する都民への説明責任を徹底することを目的とする。

2 評価対象

別に示す対象事業ユニットの中から各局等が選定した1ユニットにおける、当該ユニット内の施策（ユニットの目的を実現するための具体的な方策や対策）を評価対象とする。

3 評価手順

- (1) 平成 31 年度当初、各局等は、施策ごとに、成果（アウトカム）に着目した可能な限り定量的な指標と目標を設定するとともに、施策を構成する事業を整理する。
成果指標・目標の妥当性等について、都政改革アドバイザー会議政策評価分科会（以下「分科会」という。）から意見・助言を聴取する。
- (2) 平成 31 年度の実績を踏まえ、平成 32 年度当初に各局等が施策を自己評価する。
自己評価に際しては、評価内容の妥当性等について、分科会から意見・助言を聴取する。
- (3) 各局等は、評価結果を、今後の施策の企画立案に反映させる。

4 評価方法

施策ごとに、成果目標に向けた進捗状況を把握し、必要性、有効性、効率性等の観点から分析し、今後の方向性を提示することにより、施策を評価する。

- ① 施策全体の進捗状況
各成果指標の実績を基に、施策全体の進捗状況を把握する。
- ② 分析
施策の進捗状況を踏まえ、必要性、有効性、効率性の観点その他当該施策の特性に応じて必要な観点から、施策の現状を分析する。
- ③ 今後の方向性
分析を踏まえ、施策を推進する上での課題と対応方針など、目標達成に向けた施策の今後の方向性を提示する。

5 公表

施策の内容（成果指標・目標、施策を構成する事業など）及び評価結果は、都民に対して公表する。

6 制度導入スケジュール

- (1) 平成 31 年 4 月から、各局 1 ユニットについて試行実施する。
- (2) 分科会の助言等も踏まえて制度の改善を図り、平成 32 年度から本格実施する。

政策評価の試行実施について

第1 基本的事項

1 評価を実施する施策

各局等は、別紙「対象事業ユニット一覧」の中から試行対象とする1ユニットを選定し、当該ユニットを構成する施策の中から評価を実施する施策（評価実施施策）を選定します。

2 評価書の構成・作成

(1) 評価書は、様式1（政策体系シート）及び様式2（政策評価シート）により構成されます。

様式1（政策体系シート）は試行対象の1ユニットごとに作成し、様式2（政策評価シート）は、評価実施施策ごとに作成します。

(2) 様式2（政策評価シート）は、平成31年度当初に、評価実施施策に係る成果指標・目標、施策を構成する事業について記載し、平成32年度当初に、平成31年度の実績（成果指標や施策を構成する事業等）及び施策の自己評価を記載します。

(3) 評価書の作成に当たっては、別紙「記載要領」を参照してください。

3 施策内容及び評価結果の公表

評価書は、以下のとおり都政改革本部ホームページで公表します。

公表時期	公表内容
平成31年度上半期	<ul style="list-style-type: none"> ・様式1（政策体系シート） ・様式2（政策評価シート ※評価実施施策に係る成果指標・目標、施策を構成する事業について記載したもの）
平成32年度上半期	<ul style="list-style-type: none"> ・様式2（政策評価シート ※平成31年度の実績及び施策の自己評価を記載したもの）

第2 政策評価の手順

1 評価実施施策の選定【平成31年5月まで】

(1) 各局等は、以下の基準により、試行対象の1ユニットを選定してください（1ユニットのみの局等は、当該1ユニットが試行対象となります。）。

※選定基準

- ・東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を控えて又は開催後の状況を見据えて、現状を評価する必要があるもの
- ・行政計画の改定時期や法改正の動き、社会経済状況の変化など、施策を取り巻く状況を踏まえ、現状を評価する必要があるもの

- ・成果指標・目標の設定状況等を踏まえ、現状を評価するにふさわしいもの

(2) 選定した1ユニットについて、各局等は、様式1により、ユニットの目的を起点として、ユニット内を網羅するよう政策体系を整理し、評価実施施策を選定してください。

※ 政策体系とは、行政の目的とそれを達成する手段で形成される一つの体系をいいます。試行対象1ユニットについて、ユニットの目的を最上位の目的とし、その目的を実現するための具体的な方策や対策（施策レベル）、これを実現するための個々の行政手段（事務事業レベル）というように、目的一手段の関係を意識しながら、ユニット内の体系を整理してください。

※ ユニットによっては、施策レベルが複数階層に分かれることが考えられます。この場合は、ユニット内で、評価対象となる施策の階層を揃えてください。

※ 評価実施施策は、ユニット内の全てとすることが望ましいですが、(1)の基準を踏まえ、一部の施策とすることも可とします。

2 成果指標・目標の設定及び構成事業の整理【平成31年5月まで】

(1) 各局等は、評価実施施策について成果指標・目標を設定し、様式2に記載してください。

※ 成果指標（アウトカム指標）とは、行政活動の結果によって都民が受ける効果を表す指標のことです。「施策目標」に関し達成すべき水準を定量的に測定できる成果指標と目標（目標値・年度）を設定してください。成果指標の例については、平成31年1月30日第22回都政改革本部会議資料を参照してください。

※ 施策の達成水準を過不足なく測定できるよう、施策内容を漏れなくカバーした複数の成果指標を設定するようにしてください。また、評価時には、評価対象年度における実績を基に施策を評価することとなるため、実績測定が隔年であるなどの理由により評価対象年度の実績を把握できない指標がある場合は、実績測定可能な他の指標も併せて設定するなど、適切に施策を評価することができるようにしてください。

※ 成果指標による目標の設定が困難な場合は、施策目標の実現に向けて寄与度が高いと考えられる事業に関する定量的な活動指標（アウトプット指標：行政活動の実施量を表す指標）による目標を設定してください。

※ 定量的な指標の設定が困難な場合は、定性的な指標の設定も可としますが、施策目標の実現に向けて達成すべき水準が具体的に特定され、

事後検証が可能なものを設定してください。

(2) その上で、施策を構成する事業を整理し、様式2に、成果目標の達成に向けた主な取組として記載してください。

※ 単に施策を構成する全事業を記載するのではなく、成果目標の達成手段となる事業を体系立てて把握できるようにするため、同一の目的、対象、手法等で分類した事業のまとまりを「取組」として整理します。

※ 成果目標と取組との対応関係を意識し、成果目標の達成に向けて寄与度が高いと考えられる主要な取組を整理（各取組の予算額の合計が当該施策の予算額の7割以上となることを想定）した上で、当該取組単位で構成する事業を全て記載してください。

3 政策評価分科会の開催等【平成31年6～8月】

1・2により作成した評価書（様式1・2）を取りまとめて、都政改革アドバイザー会議政策評価分科会（以下「分科会」という。）に提出し、成果指標・目標の妥当性等について意見・助言を聴取します。

以下の流れを予定していますが、詳細については別途連絡します。

(1) 成果指標・目標等の説明（分科会開催）

分科会において、政策体系上の施策の位置付けや成果指標・目標の概要等を説明します（総務局から行う予定）。

(2) 各局等と分科会との意見交換（ヒアリング）

各局等と政策評価分科会とで、成果指標の選定理由や目標の設定根拠等について意見交換を行います。

(3) 分科会意見を踏まえた対応方針の提示等（分科会開催）

各局等は、成果指標・目標の妥当性等に関する分科会の意見・助言への対応方針を検討し、分科会に提示します。

また、政策評価における制度上の改善点等に関する分科会の意見・助言も取りまとめます。当該意見・助言を踏まえ、総務局にて、制度の改善に反映させます。

4 施策の自己評価【平成32年度当初】

各局等は、平成31年度末における成果指標及び施策を構成する事業の実績等を踏まえ、施策を自己評価してください。

自己評価に際しては、評価の妥当性等について分科会から意見・助言を聴取します。

これらの詳細な手続については、別途連絡します。

第3 評価書の提出について

第2、1・2により選定する評価実施施策に係る評価書を、次のとおり提

出してください。

- (1) 提出物
- ・試行対象ユニットに係る様式1（政策体系シート）
 - ・評価実施施策に係る様式2（政策評価シート）
- ※「施策目標」、「施策目標の達成に向けた方針」、「施策の成果指標・目標」及び「成果目標の達成に向けた主な取組」を記載したもの
- (2) 期 限 平成31年4月26日（金曜日）まで
- (3) 提出先 行政改革課組織端末 (S0000014@section.metro.tokyo.jp)

※ 平成31年5月中に、各局等から各副知事に評価書（様式1・2）について説明を実施していただく予定です。詳細については別途連絡します。

【問合せ先】

総務局行政改革推進部行政改革課都政改革担当
内線 24-917・918

対象事業ユニット一覧

(平成 31 年 4 月 1 日現在)

担当局	事業ユニット名	担当局	事業ユニット名
都民安全推進本部	都民安全の推進	病院経営本部	病院事業
総務局	人権啓発	産業労働局	中小企業支援
	区市町村		観光産業の振興
	防災・災害応急対策		農林水産業対策
雇用就業対策			
財務局	都有施設建築・保全	中央卸売市場	卸売市場の運営・整備
主税局	税務行政	建設局	道路・街路整備事業
生活文化局	男女平等参画		道路管理事業
	消費生活対策		河川事業
	文化施設		公園・霊園事業
	私立学校振興		
	共助・共生社会づくり		
オリンピック・パラリンピック準備局	スポーツ振興	港湾局	臨海地域開発
都市整備局	防災まちづくり		東京港整備・管理
	交通政策		海岸保全施設
	建築指導		島しょ等港湾・漁港・空港・海岸
	土地区画整理・市街地再開発		視察船事業
住宅政策本部	住宅施策	会計管理局	会計管理事務
	都営住宅建設・管理	教育庁	学校運営・支援
環境局	省エネルギー・温暖化対策		社会教育・生涯学習
	環境改善	東京消防庁	救急活動
	自然環境の保全・利用		消防
	資源循環・廃棄物対策	交通局	バス、都電、日暮里・舎人ライナー
福祉保健局	子供・家庭施策		地下鉄
	高齢者施策		発電
	障害者施策	水道局	水道
	生活福祉施策		工業用水道
	保健・医療施策	下水道局	下水道事業
	健康安全施策		
	福祉人材の養成・確保		

政策評価シート

局名	
ユニット名	
評価実施年度	

施策名		予算等の状況 (2019年度)	予算額 (百万円)		決算見込額 (百万円)		人員 (人)	
-----	--	--------------------	--------------	--	----------------	--	-----------	--

施策目標								

施策目標の達成に向けた方針								

施策の成果指標・目標

指標 番号	指標名		過年度の状況				評価対象年度 (2019年度)	目標 (○年度)	達成状況 ※
			2015年度	2016年度	2017年度	2018年度			
1		目標							
		実績							
2		目標							
		実績							
3		目標							
		実績							
4		目標							
		実績							
5		目標							
		実績							

成果指標の選定理由、 目標の設定根拠等	
------------------------	--

※達成状況 a: 目標達成、b: 目標未達成だが目標に近い実績を示した、c: 目標未達成であり目標に近い実績を示していない、—: 実績が未測定等の理由で判定できない

政策評価シート

局名	
ユニット名	
評価実施年度	

成果目標の達成に向けた主な取組

取組①		予算等の状況 (2019年度)	予算額 (百万円)		決算見込額 (百万円)		人員 (人)	
対応する 指標番号	取組の 概要							
取組①の実施状況								
事業①	名称			2017年度	2018年度	2019年度		
	概要	計画						
		実績						
		予算額 (百万円)						
		決算(見込) 額(百万円)						
事業②	名称			2017年度	2018年度	2019年度		
	概要	計画						
		実績						
		予算額 (百万円)						
		決算(見込) 額(百万円)						
事業③	名称			2017年度	2018年度	2019年度		
	概要	計画						
		実績						
		予算額 (百万円)						
		決算(見込) 額(百万円)						
事業④	名称			2017年度	2018年度	2019年度		
	概要	計画						
		実績						
		予算額 (百万円)						
		決算(見込) 額(百万円)						
事業⑤	名称			2017年度	2018年度	2019年度		
	概要	計画						
		実績						
		予算額 (百万円)						
		決算(見込) 額(百万円)						
取組②		予算等の状況 (2019年度)	予算額 (百万円)		決算見込額 (百万円)		人員 (人)	
対応する 指標番号	取組の 概要							
取組②の実施状況								
事業①	名称			2017年度	2018年度	2019年度		
	概要	計画						
		実績						
		予算額 (百万円)						
事業②	名称			2017年度	2018年度	2019年度		
	概要	計画						
		実績						
		予算額 (百万円)						
		決算(見込) 額(百万円)						

政策評価シート

局名	
ユニット名	
評価実施年度	

		2017年度	2018年度	2019年度	
事業③	名称				
	概要	計画			
		実績			
		予算額(百万円) 決算(見込)額(百万円)			
事業④	名称				
	概要	計画			
		実績			
		予算額(百万円) 決算(見込)額(百万円)			
事業⑤	名称				
	概要	計画			
		実績			
		予算額(百万円) 決算(見込)額(百万円)			
取組③		予算等の状況(2019年度)	予算額(百万円)	決算見込額(百万円)	人員(人)
対応する指標番号	取組の概要				
取組③の実施状況					
事業①	名称				
	概要	計画			
		実績			
		予算額(百万円) 決算(見込)額(百万円)			
事業②	名称				
	概要	計画			
		実績			
		予算額(百万円) 決算(見込)額(百万円)			
事業③	名称				
	概要	計画			
		実績			
		予算額(百万円) 決算(見込)額(百万円)			
事業④	名称				
	概要	計画			
		実績			
		予算額(百万円) 決算(見込)額(百万円)			
事業⑤	名称				
	概要	計画			
		実績			
		予算額(百万円) 決算(見込)額(百万円)			

政策評価シート

局名	
ユニット名	
評価実施年度	

施策の評価		
施策全体の 進捗状況	区分	※A(順調)、B(おおむね順調)、C(順調でない)のうちから選定
	理由	
分析		
今後の方向性		

政策評価分科会の意見・助言の概要及び都の対応	
分科会の 意見・助言 の概要	
都の対応	

- (注1) 各取組については、成果目標の達成に向けた主なものを記載しているため、予算等の状況について、取組の予算額等の合計が施策の予算額等と一致しない。
 (注2) 人員は、施策においてはおおむね部長級以下、取組においては課長級以下の常勤職員の数であり、業務量等であん分していない。
 (注3) 予算額及び決算(見込)額は、表示単位未満を四捨五入しているため、事業の予算額等の合計が取組の予算額等と一致しない場合がある。

政策体系シート

記載要領

局名	〇〇局	作成年度	2019年度	
ユニット名	〇〇施策	【概要】	【評価実施施策】	
政策体系		評価対象となる各施策の実施内容(誰に対して何を行っているのかなど)を簡潔に記載する。	評価対象となる施策のうち、評価を実施する施策に○をつける(1つ以上)。	
ユニットの目的		概要	予算等の状況(2019年度)	
施策名(評価対象となる施策)			予算額(百万円)	人員(人)
〇〇〇〇をし、□□を××する。				
〇〇の推進				○
〇〇〇の誘致				
〇〇〇〇〇〇				
〇〇〇〇〇〇				
〇〇〇〇〇〇				

【ユニットの目的】
 ユニットが目指す姿と、その実現のために何をするのか、簡潔な文章で記載する。

【予算額】
 年度当初に、ユニット、施策それぞれの当初予算額(表示単位未満を四捨五入)に記載する。

【人員】
 年度当初に、ユニット、施策それぞれに従事しているおおむね部長級以下の常勤職員の人数を記載する。
 ※他の施策に従事している人数と重複してもよく、業務量等でのあん分は不要である。

【政策体系】
 ・政策体系の最上位として、ユニットの目的を記載する。
 ・その上で、ユニットの目的を実現する手段となる具体的な方策や対策を整理し、評価対象となる施策を設定する。
 ・ユニットの内容により、施策を複数階層に分けてもよい(その際は、レイアウトを修正して、複数階層に分かれることを示す。)。この場合、ユニット内で評価対象となる施策の階層をそろえること。

【施策を複数階層に分けて政策体系を整理する場合のイメージ】

ユニットの目的	概要	予算等の状況(2019年度)		評価実施施策
		予算額(百万円)	人員(人)	
〇〇〇〇を振興し、□□を××する。				
△△の□□(上位施策名)				
××の△△(中位施策名)				
〇〇の推進(下位施策名)	~~~~~			○
〇〇〇の…(下位施策名)	~~~~~			○
〇〇〇の…(下位施策名)	~~~~~			
〇〇〇の…(下位施策名)	~~~~~			
△△の◇◇(中位施策名)				
〇〇〇の…(下位施策名)	~~~~~			
〇〇〇の…(下位施策名)	~~~~~			

評価対象となる施策の中から評価を実施する施策を選定する。

(注1) 予算額は、表示単位未満を四捨五入しているため、施策の予算額の合計がユニットの予算額と一致しない場合がある。
 (注2) 人員は、おおむね部長級以下の常勤職員の人数である。人数を業務量等であん分していないため、各施策の人員の合計がユニット全体の人員と一致しない。

政策評価シート

記載要領

局名	
ユニット名	
評価実施年度	

・「予算額」は、年度当初に、評価実施施策の当初予算額(表示単位未満を四捨五入。以下、予算額及び決算(見込)額について同じ。)を記載する。評価実施時には補正予算等を含む予算現額に修正する。
 ・「決算見込額」は、評価実施時に、評価実施施策の決算見込額を記載する。
 ・「人員」は、年度当初に、評価実施施策に従事しているおおむね部長級以下の常勤職員の人数を記載する。
 ※他の施策に従事している人数と重複してもよく、業務量等でのあん分は不要である。

評価実施施策の名称を記載する。

施策名	〇〇の推進	予算等の状況 (2019年度)	予算額 (百万円)	〇〇	決算見込額 (百万円)		人員 (人)	〇〇
-----	-------	--------------------	--------------	----	----------------	--	-----------	----

施策目標	施策を実施することによって、中期的(3~5年程度後)にどのような状態にすることを目指すのか、具体的に記載する。
------	---

施策目標の達成に向けた方針	「施策目標」を達成するために、何について、どのように取り組んでいくのか、施策の方針を記載する。
---------------	---

施策の成果指標・目標		過年度の状況				評価対象年度 (2019年度)	目標 (〇年度)	達成状況 ※
指標 番号	指標名	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度			
1	目標 実績							
2	・成果指標(アウトカム指標)とは、行政活動の結果によって都民が受ける効果を表す指標のことである。「施策目標」に関し達成すべき水準を定量的に測定できる成果指標と目標(目標値・年度)を設定する。 ・施策の達成水準を過不足なく測定できるよう、施策内容を漏れなくカバーした複数の成果指標を設定することが望ましい。また、評価時には、評価対象年度における実績を基に施策を評価することとなるため、実績測定が隔年であるなどの理由により評価対象年度の実績を把握できない指標がある場合は、実績測定可能な他の指標も併せて設定するなど、適切に施策を評価することができるようにする。							
3	・成果指標による目標の設定が困難な場合は、施策目標の実現に向けて寄与度が高いと考えられる事業に関する定量的な活動指標(アウトプット指標:行政活動の実施量を表す指標)による目標を設定する。 ・定量的な指標の設定が困難な場合は、定性的な指標の設定も可とするが、施策目標の実現に向けて達成すべき水準が具体的に特定され、事後検証が可能なものを設定する。							
4	・「過年度の状況」、「評価対象年度」は、過年度及び評価対象年度における各指標の目標と実績を記載する。目標がない場合や実績を測定していない場合は「-」を記載する。評価対象年度における実績は、評価実施時に記載する。 ・「目標」は、指標の目標と目標を達成しようとする年度を記載する。 ・「達成状況」は、評価実施時に記載するものとし、評価対象年度の目標の達成度合いを次の4区分により記載する。 a: 目標達成 b: 目標未達成だが、目標に近い実績を示した c: 目標未達成であり、目標に近い実績を示していない -: 実績が未測定等の理由で判定できない							
5	※評価対象年度の目標がない場合は、目標値と直近の過去の数値(無ければゼロとみなす。)から線形に見て評価対象年度の目標値を推計し、その推計した目標値に対する達成度合いを記載する。							
成果指標の選定理由、目標の設定根拠等		1: ~~~~~ 2: ~~~~~ 3: ~~~~~ 4: ~~~~~ 5: ~~~~~		・各成果指標がどのような理由で施策の成果を測定するために妥当であると考えたのか、目標がどのような理由で目標年度までに到達すべき目標であると考えたのかについて記載する。 ・併せて、その根拠となる計画等があれば記載する。 例: 〇〇〇計画(×年〇月策定)				

※達成状況 a: 目標達成、b: 目標未達成だが目標に近い実績を示した、c: 目標未達成であり目標に近い実績を示していない、-: 実績が未測定等の理由で判定できない

政策評価シート

記載要領

局名	
ユニット名	
評価実施年度	

成果目標の達成に向けた主な取組									
取組①			予算等の状況 (2019年度)	予算額 (百万円)		決算見込額 (百万円)		人員 (人)	
対応する 指標番号		取組の 概要							
取組①の実施状況									
事業①	名称				2017年度	2018年度	2019年度		
	概要	計画							
		実績							
		予算額 (百万円)							
		決算(見込) 額(百万円)							
事業②	名称		<ul style="list-style-type: none"> 単に施策を構成する全事業を記載するのではなく、成果目標の達成手段となる事業を体系立てて把握できるようにするため、同一の目的、対象、手法等で分類した事業のまとまりを「取組」として整理する。 成果目標と取組との対応関係を意識し、成果目標の達成に向けて寄与度が高いと考えられる主要な取組を整理(各取組の予算額の合計が当該施策の予算額の7割以上となることを想定)した上で、当該取組単位で構成する事業を全て記載する。 						
事業③	概要		<ul style="list-style-type: none"> 「取組」は、取組の名称を記載する。 取組の「予算額」は、年度当初に当初予算額を記載し、評価実施時に補正予算等を含む予算現額に修正する。 取組の「決算見込額」は、評価実施時に決算見込額を記載する。 取組の「人員」は、取組に従事しているおおむね課長級以下の常勤職員の人数を記載する。 ※他の取組に従事している人数と重複してもよく、業務量等でのあん分は不要である。 「対応する指標番号」は、当該取組に対応する成果指標の番号(「施策の成果指標・目標」欄の「指標番号」)を全て記載する。 						
	名称								
事業④	概要		<ul style="list-style-type: none"> 「取組の概要」は、取組の概要を記載する。 事業の「名称」は、事業の名称を記載する。 事業の「概要」は、事業の概要として、誰に対して何を行っているのか、どのように実施しているのか(都直営、政策連携団体を活用、民間に委託、指定管理により実施 など)、国や区市町村との費用負担割合はどうなっているのか(都の補助率・補助限度額、国との費用負担割合など)について記載する。年度によって異なる場合は、直近の状況を記載する。 事業の各年度の欄は、計画、実績など各項目について記載する。 「計画」は、事業の実施規模(件数、回数など)に係る目標(目標がない場合は予算規模)を記載する。目標も予算規模も示すことができない場合は、「-」を記載する。 						
	名称								
事業⑤	概要		<ul style="list-style-type: none"> 「実績」は、事業の実施規模に係る目標に対する実績を記載する。評価対象年度の実績は、評価実施時に記載する。 「予算額」は、年度当初に、過年度については補正予算等を含む予算現額を、評価対象年度については当初予算額を記載する。評価実施時に、評価対象年度について補正予算等を含む予算現額に修正する。 「決算(見込)額」は、年度当初に、過年度について決算額を、評価実施時に、評価対象年度の決算見込額を記載する。 						
	名称								
取組②			予算等の状況 (2019年度)	予算額 (百万円)		決算見込額 (百万円)		人員 (人)	...
対応する 指標番号		取組の 概要							
取組②の実施状況									
事業①	名称				2017年度	2018年度	2019年度		
	概要	計画							
		実績							
		予算額 (百万円)							
		決算(見込) 額(百万円)							
事業②	名称				2017年度	2018年度	2019年度		
	概要	計画							
		実績							
		予算額 (百万円)							
		決算(見込) 額(百万円)							

政策評価シート

記載要領

局名	
ユニット名	
評価実施年度	

		2017年度	2018年度	2019年度				
事業③	名称							
	概要	計画						
		実績						
		予算額(百万円) 決算(見込)額(百万円)						
事業④	名称							
	概要	計画						
		実績						
		予算額(百万円) 決算(見込)額(百万円)						
事業⑤	名称							
	概要	計画						
		実績						
		予算額(百万円) 決算(見込)額(百万円)						
取組③		予算等の状況(2019年度)	予算額(百万円)		決算見込額(百万円)		人員(人)	...
対応する指標番号		取組の概要						
取組③の実施状況								
事業①	名称							
	概要	計画						
		実績						
		予算額(百万円) 決算(見込)額(百万円)						
事業②	名称							
	概要	計画						
		実績						
		予算額(百万円) 決算(見込)額(百万円)						
事業③	名称							
	概要	計画						
		実績						
		予算額(百万円) 決算(見込)額(百万円)						
事業④	名称							
	概要	計画						
		実績						
		予算額(百万円) 決算(見込)額(百万円)						
事業⑤	名称							
	概要	計画						
		実績						
		予算額(百万円) 決算(見込)額(百万円)						

政策評価シート

記載要領

局名	
ユニット名	
評価実施年度	

施策の評価		
施策全体の進捗状況	区分	<p>A(順調)、B(おおむね順調)、C(順調でない)のうちから選定</p> <p>・各成果指標の達成状況(1ページ「施策の成果指標・目標」の「達成状況」の欄)を踏まえ、施策全体として目標に向けて順調に進んでいるかどうかを、次の3区分により記載する。 A(順調): 施策全体として進捗状況が順調であると判断できるもの B(おおむね順調): 施策全体として進捗状況がおおむね順調であると判断できるもの C(順調でない): 施策全体として進捗状況が順調でないと判断されるもの</p>
	理由	<p>・成果指標ごとに、達成状況(a、b、c)の判断理由を具体的に記載する。特に、b又はcの場合は、なぜ目標に近い又は近くないと判断したのか、その理由を具体的に記載する。 ・その上で、各指標の重要度などを踏まえ、施策全体の進捗状況として、A、B、C3区分のうちから当該区分と判断した理由を具体的に記載する。</p>
分析	<p>・施策全体の進捗状況を踏まえて、次の観点から、施策を分析する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 取組や事業は、成果目標の達成に効果があるか(取組や事業を実施することにより所期の成果が上がっているか、取組・事業以外の外部要因が影響していないか など) ✓ 取組・事業の実施方法の改善(ICTの導入、民間や政策連携団体の更なる活用、他自治体の先進事例の活用など)により <ul style="list-style-type: none"> ・同一コストで成果を高めることができないか ・成果を維持したままコストを削減する余地はないか ✓ 施策内の他の取組・事業と比較して成果が高いか ✓ 成果を高めるため又は成果目標を効率的に達成するために、取組メニューを見直す必要はないか(事業の改廃、成果目標に対する寄与度に基づく事業間の規模変更など) <p style="text-align: right;">など</p> <p>・「施策全体の進捗状況」の区分が「C」の場合は、必ず、順調でない要因を分析し、記載する。</p>	
今後の方向性	<p>分析を踏まえ、施策の今後の方向性を記載する。</p>	

政策評価分科会の意見・助言の概要及び都の対応	
分科会の意見・助言の概要	<p>政策評価分科会からの意見・助言の概要を記載する。</p>
都の対応	<p>政策評価分科会からの意見・助言を踏まえ、どのように対応した(する)のかを記載する。</p>

(注1) 各取組については、成果目標の達成に向けた主なものを記載しているため、予算等の状況について、取組の予算額等の合計が施策の予算額等と一致しない。
 (注2) 人員は、施策においてはおおむね部長級以下、取組においては課長級以下の常勤職員の数であり、業務量等であん分していない。
 (注3) 予算額及び決算(見込)額は、表示単位未満を四捨五入しているため、事業の予算額等の合計が取組の予算額等と一致しない場合がある。

政策評価シート

記載イメージ

局名	〇〇局
ユニット名	〇〇〇〇
評価実施年度	2020年度

施策名	〇〇の推進	予算等の状況 (2019年度)	予算額 (百万円)	〇〇	決算見込額 (百万円)		人員 (人)	〇〇
-----	-------	--------------------	--------------	----	----------------	--	-----------	----

施策目標
 ~~~が~~~となっており、東京都における~~~が~~~となっている。また、~~~による~~~のために、~~~が~~~されている。

**施策目標の達成に向けた方針**  
 ~~~に応じて重点的に~~~を実施することで、~~~の向上を図り、東京都における~~~を実現する。

施策の成果指標・目標

| 指標
番号 | 指標名 | 過年度の状況 | | | | 評価対象年度
(2019年度) | 目標
(〇年度) | 達成状況 | |
|----------|--------------------|--------|--------|--------|--------|--------------------|-------------|-------|---|
| | | 2015年度 | 2016年度 | 2017年度 | 2018年度 | | | | |
| 1 | ~~~な都民の割合 | 目標 | 55%以上 | 60%以上 | 65%以上 | 70%以上 | 75%以上 | 80%以上 | b |
| | | 実績 | 55% | - | 60% | - | 73% | | |
| 2 | 都における~~~の
~~~化率 | 目標 | 〇%以上 | 〇%以上 | 〇%以上 | 〇%以上 | 〇%以上 | 〇%以上 | a |
| | | 実績 | ■% | ■% | ■% | ■% | ■% | | |
| 3 | ~~~である企業数 | 目標 | - | - | - | - | - | △社以上 | c |
| | | 実績 | ▲社 | ▲社 | ▲社 | ▲社 | ▲社 | | |
| 4 | | 目標 | | | | | | | |
| | | 実績 | | | | | | | |
| 5 | | 目標 | | | | | | | |
| | | 実績 | | | | | | | |

成果指標の選定理由、目標の設定根拠等
 1: 都において、~~~を実現するためには、~~~を向上させ、~~~ができる都民を増やす必要がある。都では「~~~な都民の割合」を「~~~計画(平成〇年〇月策定)」において定めていることから、これを目標値に設定する。
 2: 都における×××の△△化率を高めることは、都における~~~向上を図る上で、非常に重要である。「都における×××の△△化率」は、「~~~計画(平成〇年〇月策定)」における都における~~~向上の成果指標・目標として定められていることから、これを設定する。
 3: ~~~の~~~は、都における~~~分野において~~~する上で非常に重要である。「~~~である企業数」は、「~~~計画(平成〇年〇月策定)」における都における~~~向上の成果指標・目標として定められていることから、これを設定する。

※達成状況 a: 目標達成、b: 目標未達成だが目標に近い実績を示した、c: 目標未達成であり目標に近い実績を示していない、—: 実績が未測定等の理由で判定できない

政策評価シート

記載イメージ

| | |
|--------|--------|
| 局名 | 〇〇局 |
| ユニット名 | 〇〇〇〇 |
| 評価実施年度 | 2020年度 |

成果目標の達成に向けた主な取組

| | | | | | | | | |
|-----|---------|--------------------|--------------|----|----------------|----|-----------|----|
| 取組① | ~~~~の推進 | 予算等の状況
(2019年度) | 予算額
(百万円) | 〇〇 | 決算見込額
(百万円) | 〇〇 | 人員
(人) | 〇〇 |
|-----|---------|--------------------|--------------|----|----------------|----|-----------|----|

| | | | | | | | | |
|--------------|-----|-----------|-------------------------------|--|--|--|--|--|
| 対応する
指標番号 | 1,2 | 取組の
概要 | ~~~~を~~~~して、都における~~~~を~~~~する。 | | | | | |
|--------------|-----|-----------|-------------------------------|--|--|--|--|--|

取組①の実施状況

| 事業① | 名称 | 概要 | 2017年度 | | | 2018年度 | | | 2019年度 | | | | | |
|-----|---|--------------------------------------|------------------|---------|--------------|------------------|---------|---------|--------------|------------------|---------|---------|--------------|------------------|
| | | | 計画 | 実績 | 予算額
(百万円) | 決算(見込)
額(百万円) | 計画 | 実績 | 予算額
(百万円) | 決算(見込)
額(百万円) | 計画 | 実績 | 予算額
(百万円) | 決算(見込)
額(百万円) |
| 事業① | ~~~~事業 | ~~~~を~~~~するために、~~~~を対象として、~~~~を実施する。 | 計画 | 〇〇回実施 | 〇〇回実施 | 〇〇回実施 | 〇〇回実施 | 〇〇回実施 | 〇〇回実施 | 〇〇回実施 | 〇〇回実施 | 〇〇回実施 | 〇〇回実施 | |
| | | | 実績 | ■ ■ 回実施 | ■ ■ 回実施 | ■ ■ 回実施 | ■ ■ 回実施 | ■ ■ 回実施 | ■ ■ 回実施 | ■ ■ 回実施 | ■ ■ 回実施 | ■ ■ 回実施 | ■ ■ 回実施 | ■ ■ 回実施 |
| | | | 予算額
(百万円) | △△ | △△ | △△ | △△ | △△ | △△ | △△ | △△ | △△ | △△ | △△ |
| | | | 決算(見込)
額(百万円) | □□ | □□ | □□ | □□ | □□ | □□ | □□ | □□ | □□ | □□ | □□ |
| 事業② | ~~~~を整備することで、~~~~が~~~~する機会を創出する。なお、運営は、政策連携団体である株式会社~~~~への指定管理による実施としている。 | | 計画 | 〇〇人参加 | 〇〇人参加 | 〇〇人参加 | 〇〇人参加 | 〇〇人参加 | 〇〇人参加 | 〇〇人参加 | 〇〇人参加 | 〇〇人参加 | 〇〇人参加 | |
| | | | 実績 | ■ ■ 人参加 | ■ ■ 人参加 | ■ ■ 人参加 | ■ ■ 人参加 | ■ ■ 人参加 | ■ ■ 人参加 | ■ ■ 人参加 | ■ ■ 人参加 | ■ ■ 人参加 | ■ ■ 人参加 | ■ ■ 人参加 |
| | | | 予算額
(百万円) | △△ | △△ | △△ | △△ | △△ | △△ | △△ | △△ | △△ | △△ | △△ |
| | | | 決算(見込)
額(百万円) | □□ | □□ | □□ | □□ | □□ | □□ | □□ | □□ | □□ | □□ | □□ |
| 事業③ | ~~~~に取り組み市区町村を支援し、~~~~を推進していく。
・補助率1/3(負担割合:国1/3、都1/3)
・補助限度額:〇百万円 | | 計画 | 〇〇件補助 | 〇〇件補助 | 〇〇件補助 | 〇〇件補助 | 〇〇件補助 | 〇〇件補助 | 〇〇件補助 | 〇〇件補助 | 〇〇件補助 | 〇〇件補助 | |
| | | | 実績 | ■ ■ 件補助 | ■ ■ 件補助 | ■ ■ 件補助 | ■ ■ 件補助 | ■ ■ 件補助 | ■ ■ 件補助 | ■ ■ 件補助 | ■ ■ 件補助 | ■ ■ 件補助 | ■ ■ 件補助 | ■ ■ 件補助 |
| | | | 予算額
(百万円) | △△ | △△ | △△ | △△ | △△ | △△ | △△ | △△ | △△ | △△ | △△ |
| | | | 決算(見込)
額(百万円) | □□ | □□ | □□ | □□ | □□ | □□ | □□ | □□ | □□ | □□ | □□ |
| 事業④ | | | 計画 | | | | | | | | | | | |
| | | | 実績 | | | | | | | | | | | |
| | | | 予算額
(百万円) | | | | | | | | | | | |
| | | | 決算(見込)
額(百万円) | | | | | | | | | | | |
| 事業⑤ | | | 計画 | | | | | | | | | | | |
| | | | 実績 | | | | | | | | | | | |
| | | | 予算額
(百万円) | | | | | | | | | | | |
| | | | 決算(見込)
額(百万円) | | | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | |
|-----|-------|--------------------|--------------|----|----------------|----|-----------|----|
| 取組② | ~~~~~ | 予算等の状況
(2019年度) | 予算額
(百万円) | 〇〇 | 決算見込額
(百万円) | 〇〇 | 人員
(人) | 〇〇 |
|-----|-------|--------------------|--------------|----|----------------|----|-----------|----|

| | | | | | | | | |
|--------------|---|-----------|-------|--|--|--|--|--|
| 対応する
指標番号 | 〇 | 取組の
概要 | ~~~~~ | | | | | |
|--------------|---|-----------|-------|--|--|--|--|--|

取組②の実施状況

| 事業① | 名称 | 概要 | 2017年度 | | | 2018年度 | | | 2019年度 | | | | | |
|-----|-------|-------|------------------|-------|--------------|------------------|-------|-------|--------------|------------------|-------|-------|--------------|------------------|
| | | | 計画 | 実績 | 予算額
(百万円) | 決算(見込)
額(百万円) | 計画 | 実績 | 予算額
(百万円) | 決算(見込)
額(百万円) | 計画 | 実績 | 予算額
(百万円) | 決算(見込)
額(百万円) |
| 事業① | ~~~~~ | ~~~~~ | 計画 | 〇〇〇 | 〇〇〇 | 〇〇〇 | 〇〇〇 | 〇〇〇 | 〇〇〇 | 〇〇〇 | 〇〇〇 | 〇〇〇 | 〇〇〇 | |
| | | | 実績 | × × × | × × × | × × × | × × × | × × × | × × × | × × × | × × × | × × × | × × × | × × × |
| | | | 予算額
(百万円) | △△ | △△ | △△ | △△ | △△ | △△ | △△ | △△ | △△ | △△ | △△ |
| | | | 決算(見込)
額(百万円) | □□ | □□ | □□ | □□ | □□ | □□ | □□ | □□ | □□ | □□ | □□ |
| 事業② | ~~~~~ | ~~~~~ | 計画 | 〇〇〇 | 〇〇〇 | 〇〇〇 | 〇〇〇 | 〇〇〇 | 〇〇〇 | 〇〇〇 | 〇〇〇 | 〇〇〇 | 〇〇〇 | |
| | | | 実績 | × × × | × × × | × × × | × × × | × × × | × × × | × × × | × × × | × × × | × × × | × × × |
| | | | 予算額
(百万円) | △△ | △△ | △△ | △△ | △△ | △△ | △△ | △△ | △△ | △△ | △△ |
| | | | 決算(見込)
額(百万円) | □□ | □□ | □□ | □□ | □□ | □□ | □□ | □□ | □□ | □□ | □□ |

政策評価シート

記載イメージ

| | |
|--------|--------|
| 局名 | 〇〇局 |
| ユニット名 | 〇〇〇〇 |
| 評価実施年度 | 2020年度 |

| | | | | 2017年度 | 2018年度 | 2019年度 | | | |
|----------|-------|-------|----------------|--------------|--------|------------|----|-------|----|
| 事業③ | 名称 | ~~~~~ | | 計画 | 〇〇〇 | 〇〇〇 | | | |
| | 概要 | ~~~~~ | | 実績 | ××× | ××× | | | |
| | | ~~~~~ | | 予算額(百万円) | △△ | △△ | | | |
| | | ~~~~~ | | 決算(見込)額(百万円) | □□ | □□ | | | |
| 事業④ | 名称 | ~~~~~ | | 計画 | 〇〇〇 | 〇〇〇 | | | |
| | 概要 | ~~~~~ | | 実績 | ××× | ××× | | | |
| | | ~~~~~ | | 予算額(百万円) | △△ | △△ | | | |
| | | ~~~~~ | | 決算(見込)額(百万円) | □□ | □□ | | | |
| 事業⑤ | 名称 | ~~~~~ | | 計画 | 〇〇〇 | 〇〇〇 | | | |
| | 概要 | ~~~~~ | | 実績 | ××× | ××× | | | |
| | | ~~~~~ | | 予算額(百万円) | △△ | △△ | | | |
| | | ~~~~~ | | 決算(見込)額(百万円) | □□ | □□ | | | |
| 取組③ | ~~~~~ | | 予算等の状況(2019年度) | 予算額(百万円) | 〇〇 | 決算見込額(百万円) | 〇〇 | 人員(人) | 〇〇 |
| 対応する指標番号 | ○ | 取組の概要 | ~~~~~ | | | | | | |
| 取組③の実施状況 | | | | | | | | | |
| 事業① | 名称 | ~~~~~ | | 計画 | 〇〇〇 | 〇〇〇 | | | |
| | 概要 | ~~~~~ | | 実績 | ××× | ××× | | | |
| | | ~~~~~ | | 予算額(百万円) | △△ | △△ | | | |
| | | ~~~~~ | | 決算(見込)額(百万円) | □□ | □□ | | | |
| 事業② | 名称 | ~~~~~ | | 計画 | 〇〇〇 | 〇〇〇 | | | |
| | 概要 | ~~~~~ | | 実績 | ××× | ××× | | | |
| | | ~~~~~ | | 予算額(百万円) | △△ | △△ | | | |
| | | ~~~~~ | | 決算(見込)額(百万円) | □□ | □□ | | | |
| 事業③ | 名称 | ~~~~~ | | 計画 | 〇〇〇 | 〇〇〇 | | | |
| | 概要 | ~~~~~ | | 実績 | ××× | ××× | | | |
| | | ~~~~~ | | 予算額(百万円) | △△ | △△ | | | |
| | | ~~~~~ | | 決算(見込)額(百万円) | □□ | □□ | | | |
| 事業④ | 名称 | ~~~~~ | | 計画 | 〇〇〇 | 〇〇〇 | | | |
| | 概要 | ~~~~~ | | 実績 | ××× | ××× | | | |
| | | ~~~~~ | | 予算額(百万円) | △△ | △△ | | | |
| | | ~~~~~ | | 決算(見込)額(百万円) | □□ | □□ | | | |
| 事業⑤ | 名称 | ~~~~~ | | 計画 | 〇〇〇 | 〇〇〇 | | | |
| | 概要 | ~~~~~ | | 実績 | ××× | ××× | | | |
| | | ~~~~~ | | 予算額(百万円) | △△ | △△ | | | |
| | | ~~~~~ | | 決算(見込)額(百万円) | □□ | □□ | | | |

政策評価シート

記載イメージ

| | |
|--------|--------|
| 局名 | 〇〇局 |
| ユニット名 | 〇〇〇〇 |
| 評価実施年度 | 2020年度 |

| 施策の評価 | |
|-----------|---|
| 施策全体の進捗状況 | 区分
※A(順調)、B(おおむね順調)、C(順調でない)のうちから選定
B(おおむね順調) |
| | 理由
・成果指標1「～～な都民の割合」は、目標を達成していないが、前回から13pt増加し目標値との差が縮まっていることから、「b」とした。
・成果指標2「都における～の～～化率」は、目標を達成したことから、「a」とした。
・成果指標3「～～である企業数」は、前年度から〇社増加したものの、線形により推計した値を下回っており目標値との差が拡大したことから、「c」とした。
・上記の3つの指標のうち、指標番号1・2の指標は、それぞれが本施策内容全体を包含しているため、指標番号3の指標より施策目標への影響も大きい。そこで、一部成果指標の進捗が芳しくないものの、施策において影響の大きい成果指標の目標達成状況が良好であることから、「B(おおむね順調)」であると評価した。 |
| 分析 | ・取組〇は、構成する事業の多くを計画どおりに実施しており、アンケート(参考資料〇を参照)から分かるとおり、～の重要性を理解した都民や実行に移そうと思った都民が増えたことにより、成果指標1・2の実績が見込みどおり向上したものと考えられることから、各成果指標の手段として概ね有効であると評価できる。
・事業〇については、現在、都が企画を行っているが、現場を担う政策連携団体の持つノウハウを活用することで、現場ニーズを的確に事業内容に反映させ、これまで以上に効果を高めることができると考えられる。
・一方、事業〇については、予定量の半数程度の実施状況であるにもかかわらず成果指標の実績が向上したことを踏まえると、成果指標に対する有効性は他事業よりも低いと考えられる。そのため、当該事業に係る経費を他の事業に振り向けることで、より効果的・効率的に成果目標の達成を図ることができると考えられる。

・取組〇は、構成する事業の多くを計画どおりに実施したものの、～～が大きく影響したことにより、成果指標3の実績が見込みほど向上しなかったものと考えられる。
・事業〇・〇については、現在、都職員が企画・実施しているが、〇県では利用者ニーズを分析するシステムを導入することで・・・を向上させていることを踏まえると、都民のニーズを事業内容に反映させることで、より一層効果を高めることができると考えられる。 |
| 今後の方向性 | ・施策全体として目標に向けておおむね順調に進展していることから、基本的に現在の構成により目標の実現を図っていく。
・目標の達成状況がcであった成果指標3に関する取組〇については、〇事業に利用者ニーズを分析するシステムを導入することができないか今年度後半から検討していくなど、成果向上に向けて取り組んでいく。
・取組〇・〇については、官民の役割分担や事業規模の最適な配分を検討し、効果的・効率的に成果目標を達成できるよう取り組んでいく。 |

| 政策評価分科会の意見・助言の概要及び都の対応 | |
|------------------------|---|
| 分科会の意見・助言の概要 | ・都の成果指標の設定や評価案は妥当である。
・成果指標「～～」については、目標と実績との乖離が生じているため、課題と課題解決策を示す必要がある。 |
| 都の対応 | ・分科会意見を踏まえ、課題と今後の方向性を記載した。 |

(注1) 各取組については、成果目標の達成に向けた主なものを記載しているため、予算等の状況について、取組の予算額等の合計が施策の予算額等と一致しない。
 (注2) 人員は、施策においてはおおむね部長級以下、取組においては課長級以下の常勤職員の数であり、業務量等であん分していない。
 (注3) 予算額及び決算(見込)額は、表示単位未満を四捨五入しているため、事業の予算額等の合計が取組の予算額等と一致しない場合がある。